

行政政策学類 DP ルーブリック

大項目	中項目	4 応用レベル	3 いずれか達成	2 やや達成	1 学習済み	0 克服すべきレベル
研究分野の知識	法・政治・社会・文化等の研究分野に関する基礎的知識の修得。	研究分野に関する基礎的な知識が身につけており、資料等が手元になくとも、いくつかのものについては自分だけで解説できる	研究分野に関する学んだ基礎的知識のうち、いくつかのものについては、資料等が手元があれば、自分だけで解説できる。	研究分野に関する学んだ基礎的知識の内、いくつかのものについては、教員等の支援の下であれば解説できる。	研究分野に関して基礎知識を含む科目を、いくつか挙げられる。	研究分野に関する基礎的な知識は身につけていないし、身につける意欲もない。
	法・政治・社会・文化等の研究分野に関する専門知識の活用。	自分の専門分野に関する知識のうち、いくつかのものについては、状況に応じて自分だけで解説できる。	自分の専門分野に関する専門書などの解説のうち、いくつかのものについては、自分だけで理解できる。	学びを基にして、自分の専門分野に関する本やインターネットの記事を読んだり集めたりしている。	自分の専門分野の科目について、いくつかは学び始めている。	自身の専門性が曖昧で、そのうえ、学ぶ意欲もない。
問題探究・調査・解読能力	国・地域・社会が直面している諸課題（右では「諸課題」という。）を自ら発見・調査・分析する能力の修得。	諸課題を理解し、既に得られた知識や、必要な資料・情報等を読み解いて、新しい知見を得ようとしている。	諸課題の内、いくつかのものについては、自分の専門分野では非専門とする者よりも必要な資料・情報等を読み解くことができる。	諸課題を解決するために必要な資料・情報等は、所在を知っている、あるいは、他の学生や教員等の協力があれば発見できる。	諸課題に関心を持っている、あるいは調査・分析する方法は知っている。	諸課題について関心がなく、調査・分析する方法がわからない。
課題解決の実践力・提案力	地域の諸主体と共に国・地域・社会が直面している諸課題（右では「諸課題」という。）を解決する実践力、調整力の修得。	自分の専門分野における諸課題を解決するため、地域の諸主体と共に、その対象にあった解決方法を自ら提案しながら活動している。	自分の専門分野の諸課題を解決するため、地域の諸主体の活動に参加するか、地域の諸主体と共に解決しようと取り組み始めている。	自分の専門分野における諸課題を解決するため、自分の得た知見を社会の中で役立てようとする意欲がある。	自分の専門分野における諸課題や、共同すべき地域の諸主体についての知識を学んでいる。	自身の専門性が曖昧で諸課題を認識することに関心がないうえ、地域の諸主体の活動に参加する意欲がない。
創造するための学際的な応用力	社会の構成員（個・集団を問わず）の価値を尊重し、相互に暮らしやすい社会を作り出す創造的な提案ができる能力の修得。	社会の構成員の多様な価値観をもとに、相互に暮らしやすい社会を作り出すため、多角的な視点から、あるべき社会の形を提案することができる。	社会の構成員の多様な価値観を尊重する重要性を理解し、あるいは、複数の分野の科目を学際的に履修したことを活かして、社会へ活かす方法を考えている。	複数の分野の科目を学際的に履修して視野を広げ、諸課題について考える意欲がある。	社会の構成員には様々な価値が存在することを理解し、そのことに起因する諸課題があることを学び始めている。	履修した分野が狭く、自身と異なる立場の価値観については、全く関心がない。
表現力・コミュニケーション能力	修得した知識、考察した結果、実践した成果や評価（右では「成果や評価」という。）を第三者に伝えたり、第三者と議論できる能力の修得。	成果や評価を第三者に効果的に伝え、多様な主体と議論することができる。	成果や評価の共有や議論を通して、いくつかのものについては、第三者に効果的に伝えることができる。	成果や評価のうち、いくつかのものについては、他者とともに成し遂げることができる。	成果や評価を他者に伝えたり、共に学ぶ重要性は学んだ。	成果や評価を他者に伝える必要性を感じないばかりか、そもそも他者と共に活動する意欲がない。

\* 大項目は AP、DP に対応する内容を簡略化したもの。

\* 中項目は「大項目」の下位に属する具体的な説明。